

B型肝炎ワクチン

B型肝炎ワクチンが2016年10月から定期接種化されました。

肝炎ウイルスにはA～Eまで型があります。その中でB型肝炎のウイルスは赤ちゃんが感染するとキャリア化（体内にウイルスを持つ状態）しやすく、将来、慢性肝炎や肝硬変になることがあるので、ワクチンでの予防が大切です。

B型肝炎のウイルスは血液だけでなく、体液（唾液や汗、涙）からも感染することがわかっており、他人との距離が近い学童期までの子どもたちほど感染のリスクが高いといえます。

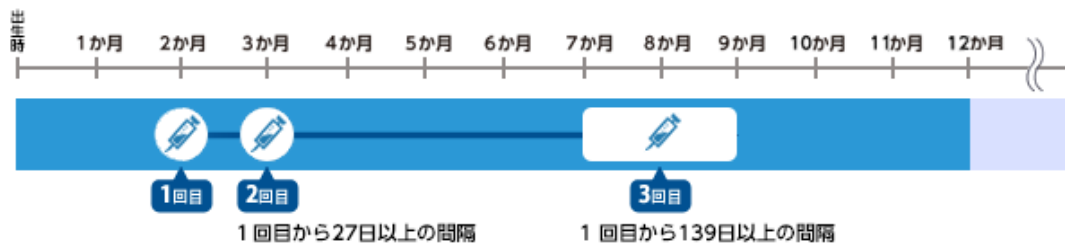
以前より先進国では定期接種されており、ようやく日本でも10月から定期接種が始まりました。定期接種の対象の方は2016年4月以降に生まれた0歳の子どもたちですが、まだ接種をしていない方はぜひ接種してくださいね。

接種のスケジュールについては下記図を参考にしてください。

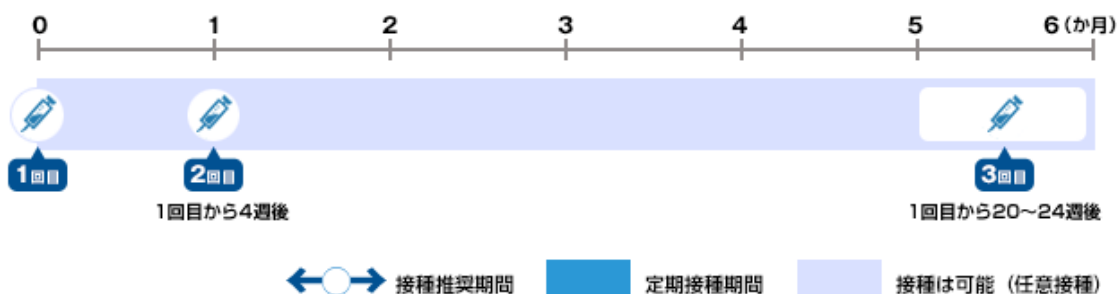
1歳以上の方は自費での接種にはなりますが、この機会に接種を考えてみてはいかがでしょうか？



定期接種の場合（0歳児）



1歳以降の場合（任意接種）



ワクチンについての詳しいサイト

VPD(ワクチンで防げる病気)を知って子どもを守ろう☆

<http://www.know-vpd.jp>



KNOW-VPD! 携帯版